



役場 事務所 福島村 印刷 北洋印刷株式会社

八月のメモより

一、八・五水害

雨らしい雨も降らず、今年の水害は格別だと託(かこ)っていたのに、五日午前二時頃から降りも降ったり、巻地区で五日、一日に九〇、三ミリという当地方には驚異的な降雨となり、昭和三十三年雨来の危機に打ち当たりました。村は五日午後七時役場に「水防対策本部」を設置し、青木助役と丸山消防団長が専らその責に当り、消防団員並に村民並資材を動員して、東は中之口川の防備に、西は新川並に濁端の防備に当りました。中之口川方面は月瀧村並味方村に急ぐ危機を脱しましたので、全力を味方村の西目根、味方、吉江に集中し、次は、越水の前前に食い止め得たことは不幸中の幸いでありました。

上、三十三年は七月の二十三日より、三日間であったに比し今回ののは八月五、六の二日間で水温の高いことと、時期的に己に出穂開花中か、穂孕期であるため冠水被害は、驚くべき程甚大となるべき処幸い、本田に致命的損害を与えずにすんだことは誠に下幸中の幸いでありました。然し今回の水害より次の諸点につき至急対策の必要なることを痛感いたしました。

- (A) 水防対策を至急確立すること
- (B) 地盤沈下による中之口川の築防を至急高上げすること
- (C) 国県営の工事の促進をはかること
- (D) 旧木山川排水機の機能の増加をはかること

なお本年の水害も昭和三十三年の水害に比し被害が時期的な最悪の条件下にありながら絶大なる御努力の賜であることは勿論ですが、次の点に於て都合のよかつたことが考えられます。

- (1) 新川堤防の高上げがすんでいました。
- (2) 越水橋の架け換えが終って高くなり、且つ永久橋になっていました。
- (3) 濁端に新川をサンドポンプで戻せば大体できていて新川の流れがよくなったこと

なお今回の水害による被害は別項を御覧下さい。

二、急施村会

今回の水防についての対策本部は五日に開設し八日に閉鎖しましたが、その間消防団各位の絶大な御努力と各字総代、土地改良区並に村民各位の御協力に深く感謝申すと共に、水防に要した資材その他の処理及び被災者に対する対策等につき九月急施村会を開いていただき、水防の経過を報告して了承を得たる上次の件を決議していただきました。

- (A) 水防に要した経費は九月の定例会に提案すること
- (B) 浸水により退去寸前にいたった被害者に見舞金を贈ること
- (C) 水防対策を成文化して九月定例会村会に提出すること
- (D) 味方村を応援するに要した資材は味方村の要請を譲として無償とすること

三、防犯組合の改組

夏から秋にかけて、毎年他町村の青年の来遊によるいろいろな煩らしいことが起りますので、之に対処するため、実際に活動するに都合よくするため今回組合規約を改正して陣容を立て直すこととするため、八月十日決定し、これによつて改善を期するため打合せを行いました。

四、可搬式ポンプの整備

緊要対策と消火力の強化を狙つて、可搬式ポンプの導入と、消火栓の増設を期して第1次として、去る八月十一日第1次として、可搬式ポンプ七台を配給いたしました。今春配置した一台を加えて計八台の設置を見込められています。

八台は去る二十一日の非常呼集演習(茨島の大原産業協同組合前に実施)に実地使用して見ましたが、軽重で小型であるため運搬操作は極めて便利で、その上性能極めて優秀であることを確認できましたので、村の消防力強化のため充分その目的を達成することができていることを確認いたしました。

五、慰霊祭執行

本年から両遺族会が合同いたしましたため、合併で慰霊祭をとり行なうことになっており且つ期日も八月二十五日と決定しておりましたので、本年は新設の集会所に去る八月二十五日執行いたしました。

六、豊島先生の講演

昨年調査に御出になつた東京都社会学科の白田教室の方が、本年も亦御出になつて昨年調査の不充分の分を調査されました。それを機として、御出になつた豊島奈良織維大学教授を聘して、「家族制度の変遷」について、講演会を八月六日集会所に開きました。先生は家族の本質から、今日に至るまでに家族の形態が如何に変わってきたか、文明国と後進国の家族形態の相異を明かにせられました。その中で私達は次のことを教えられました。

日本の家族形態も漸次欧米式の夫婦単位の形態に移行しつつあるが、その利点は家長の独裁から救われ各々がその処を得る点であるが、その反面夫婦重点の結果、子女教育、老人の処遇の問題につき難点があり、最近英米の識者は日本の家族形態を研究して、その美点を取り入れたいと望んでいる。この講演から私達は先進国の形態の美点を取り入れることは、勿

七、福島主事の退職

皆さんに親しみ深い福島主事は去る八月五日をもって退職せられました。主事は大正九年八月一日四ッ合村書記補に採用せられて以来三十四年八月福東村に六年六月、合計実に四十二年二月、足かけ四十二年の久しに亘り村行政に当らねた功績であります。主事は誠実にして、しかも剛毅よく多難の村行政の処理に功績よく、正しい村政に尽くされた功績の多大であったことは、皆さんのよく御承知のことと存じます。私として主事に感謝している点の一つに、あの困難を極めた両村合併時の氏の毅然たる信念であります。そのため今日合併の喜びを思はすに、そのための功績を思はずにはおられません。新村ができつつある新村建設につき、赤字解消対策につき氏の努力は大したものであります。

人事往来

異動( )内は旧任

- 総務係長 池浦 秀雄
- 税務係長 中沢 (前係長)
- 総務係 揖斐 勇
- 経済係 星野 志乃夫

新任

- 農業委員会 笹崎 正信
- 係員 (大字上天湯)

退職

- 主事 福島 賢索

私は主事が退職後充分健康に注意せられた上、一村民として立場は変わつても村のため相変わらず御つくし下さることを信ずるとともに希望いたします。(樋口)



寄稿文

村のすみずみまで

本年は八月の思わぬ水害に見舞われ村民の苦勞がまた一つ増したような感が致します。風雨に曝された稲作と取組んでこられた村民のみな様には大打撃であつた事と存じます。最近の七桁八桁農業といふ今日、どこも部落へ行つても稲作始め、莫々に、畜産に努力しておられる村民の姿を見る時、あたまた下の思いが致します。

得る海蔵増であります。稲作に災害の来る季節までには取入を得る事が出来、安心して稲作と取組んで行かれます。所得の増増論を解決することは、米価八千円であります。先ずそれは不可能であります。その倍増論を解決するには村民は能力を有効に生かして働く事でありましょう。池田倍増に負けず湯東には三倍論を持って、明るい住よい村を作り、また丈夫な体を作り、老後を楽しく暮らしましょう。村のすみずみまで、真赤な苜蓿、裏白な洋草、早起の鶏を大きく振上げましょう。やがてわが湯東村の広場に明るい灯が燈る。

災害は忘れた頃にやってくるといわれ、自然とともに生きる農作物には一番恐ろしいのです。いざ災害にそなえて、先ずもって屋内産棄を取入れてやって行つてはどうでしょうか。屋内産棄といつても今村当局のおすすめておられる洋草栽培、養鶏飼育を上げます。また短期日に現金収入を

米どころ我子にまさる稲穂かな 星野次郎

養鶏のたより

各種栄養素の必要性

鶏は呼吸、歩行、飼料の消化、発育及び産卵等のため水、炭水化物、脂肪、蛋白質、無機物及びビタミン等の各種の栄養素を摂取しなければならぬ。然らば鶏は一体とだけだけの栄養素を必要とするものであるかを見なければならぬ。これ等の五種類の重要な栄養素中、水は何処にも豊富に存在するものであり、一般に飲水器で自由に飲ませているので、ここでは特に考慮する必要はないが、只水は常に新鮮なものを規則正しく且つ豊富に与えなければならぬ。

鶏の飲む水の量は鶏の種類、年齢、産卵状態、温度等によって夫々異なるものであるが、成鶏においては、一日一日最少量六リットル、大量一合二勺程度である。また飼料に穀類及びその副産物を比較的多量に使用する鶏の飼料においては、炭水化物及び脂肪を不足することは殆んどないものと考えられる。従つて鶏の必要とする栄養素は蛋白質、無機物及びビタミンの三種の栄養素について考慮すればよいこととなる。これ等の三つの栄養素は、鶏の健康と発育及び産卵に対して極めて重要なものであるばかりでなく、飼料費に対しても大きく影響するものであるから特に慎重を期さなければならぬ。 養鶏指導員

水質検査の結果

民生係

上水道、簡易水道の水質検査結果をお知らせいたします。

名称	検査月日	二級細菌類	大腸菌群	飲料水の適否
今井簡易水道	八月二日	二	二	適
井隨共栄	"	五	二	適
島方上組	"	二	二	適
島方中組	"	七〇	十七	否
島方下組	"	一	一	適
西 部	"	八	二	適
井 隨	"	二〇	二十	適
中之口上水道	八月十一日	三	二	適

秋季乳児検診三才児健康診査

例年の通り今回九月上旬に乳児検診を行ないますが、今年から乳検と共に幼児の検診も行う事になりました。毎回お話し致しております通り、乳児の発育健康は、勿論幼児期の身体発育並びに精神発達の面から最も重要な時期であるといふことをとりあげまして実施する事になったのでございます。どうぞお母様及家族の皆様のご理解のもとに全員御出席下さいまして明るく強くおこころさんな子供をお育て下さいませようお願いします。

乳児幼児の対象は次の通りでございます。もし通知もれ等の方がございましたら必ずおいで下さいませようお待ち申上げております。 記

集中豪雨被害概況

水稲作付面積 一、七〇七ha  
水稲被害見込面積 四六八ha  
水稲被害見込額 七九、六四三千元  
その他被害見込額 一、六三〇千元  
計 八一、二七三千元

巻務務署だより

入場券の半片はあなたが負担された入場税が確実に納税されるしるすので必ずお受け取り下さい。

納税貯蓄組合の用件はどうぞ一管理納税係へ巻務務署では今まだ納税貯蓄組合に関する事務は一納税貯蓄組合係にて担当しておりますが、国税の滞納額もまだ減少してきませんでしたので七月十七日より同係が管理係と統合され各称が「管理納税係」と改められ、今後納税貯蓄組合の事務は「管理納税係」で取扱うことになりましたからお知らせします。

あとかき

朝夕すがすがしい風が吹き始めの秋も間近にひかえ、皆様には取り入れ準備等何かとお忙がしいことと思ひます。

本号で「役場たより」も二十一号をかぞえ、これまでの寄稿者に対し厚く御礼申し上げますと共にこれからも皆様から色々の御意見等お寄せ下さるようお願いいたします。 編集係